

医師・看護師・介護職員の大増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第91号
2010年5月14日
日本医労連増員闘争本部
TEL: 03-3875-5871
FAX: 03-3875-6270

秋田県医労連

5月25日の署名提出行動が紹介されています

秋 田 さ き が け

(3) 総合 2010年(平成22年)5月14日 金曜日

「慢性疲労」8割超

県医労連 人手足りず過密労働

県医労連組合連合会(中村芳也執行委員長、約6千人)は19日、昨年11月から今年1

看護職員

月に実施した「看護職員の労働実態調査」の結果を発表した。健康状態について82・9%が「慢性疲労」と回答したほか、84・1%が「仕事を辞めたいと思ふ」としており、うち49・6%が理由として「人手不足で仕事がつらい」を挙げている。県医労連は「県内の看護職員が相対的な人手不足の中、超過密労働を強いられている実態が明らかになった」としている。

調査は、看護職員の労働実態を明らかにしようと1088名を対象に、昨年11月から今年1月にかけて、県内の約医療機関に勤務する看護職員ら計約4千人を対象に行い、1044人から回答を得た。

「仕事量の変化」については72・7%が「増えた」と回答。「この3年間にミスやニアミスを起こしたか」との質問に対しては、87・6%が「ある」と答え、理由として90%

が「人手不足による忙しさ」であった。また、87・7%が勤務時に25・3%が「交代制勤務による疲労の蓄積」、24・7%が「看護の知識や技術の未熟さ」、17・5%が「看護職と医師の連携の悪化」を挙げている。

「十分な看護を提供できているか」との問いには、59・2%が「できていない」とし、うち89%が「人員が少なく業務が過密」と回答した。

82・8%だった慢性疲労率は、2000年の調査で79・5%、05年の調査では83・7%

医療、社会保険増額を
あす街頭署名活動
県医労連はあす15日、国に医療費と社会保険費の増額を求め、街頭署名活動を県内4カ所で行う。

活動を行うのは、イオンスーパーセンター大館店(大館市)、イオンスーパーセンター秋田駅前(秋田市)、イオンスーパーセンター横手南店(横手市)。いずれも午前10時半から正午まで、傘下集組の組合員が署名を呼び掛ける。

同様の署名活動は全国で行われ、25日に国会へ提出することとしている。

(小林博彦)